SSボート漁船(小型兼用船)

2010/06/16掲載

売却価格：**売却済み**



基本情報

船種	SSボート 漁船(小型兼用船) (サイズ：39ft)		
サイズ(船検証)	全長：11.69m　全幅：2.38m　全深：0.90m		
登録年式	1986(昭和61)年	**製造年式**	1986(昭和61)年
航行区域	限定沿海	**定員**	12人
船底塗装歴	あり	**次回船検**	本検査(2014年06月03日)
取材	あり	**出品エリア**	長崎(九州)
注意事項	見学ご希望の方はメールかお電話にてお問い合せ下さい。 また、オーナーさんご多忙の為、 購入を前提にした方のみご見学お願いします。 中古艇ドットコムは個人売買となりますので、お約束をお守りいただけない方や、態度の悪い方は、オーナーさんの方よりお取り引きを、お断りさせていただく場合もございますのでご了承下さい。 上記の記事内容は、オーナーさんのコメントをもとに作成されたものです。 極力、欠点なども含めて記事を作成しておりますが、なにぶん１時間程度の取材時間で作成したものですし、オーナーさんの中には問題点を把握していなかったり、不具合箇所がお話から漏れてしまう事もあるかもしれませんので、実艇の状態と違う箇所が存在する可能性があります。 また、整備履歴・修復歴や艇の状態などに関しては、中古艇ドットコムで裏づけを取ったものではありませんので、ホームページの内容は参考までにご覧いただき、必ず見学され、購入者本人の眼で確認の上、自己責任で購入をお決め下さい。 中古艇ドットコムより無理に購入を勧めることはございません。		

エンジン関連

メーカー	ー	**エンジン型式**	ヤンマーディーゼル　375馬力(6GH-UT)
燃料種類	ディーゼル	**搭載数**	1基

船検証記載馬力	ー	**推進機器種類**	シャフト船
巡航速度(参考)	約25ノット	**最高速度(参考)**	約28ノット
燃費/時間当り(参考)	約50リットル	**燃料タンク容量**	約900リットル
使用時間	**不明**		

※上記に表示されたモデル名・サイズ年式・エンジン仕様・エンジン馬力・燃料種類・速度・燃費などの数値は、中古艇ドットコムで確認を取ったものではありません。オーナー様からいただいた情報を基に記載しておりますが、オーナー様の記憶違いや勘違いの可能性もありますので、あくまでも、参考までにご覧いただき、最終的には自己判断にてご購入をお決め下さい。
※使用時間は、メーターの表示時間を記載しております。あくまでもメータの表示時間ですので、実際の使用時間を補償するものではありません。
※巡行速度・最高速度に関しては、オーナー様からお聞きした速度を記載しておりますが、オーナー様の記憶違いや、船の状態により記載されたスピードが出ない可能性もあります。あくまでも参考までにご覧下さい。燃費やタンク容量などの数値に関しても同様です。

備品情報

航海計器
・GPS魚探 1
FURUNO　GP-1650F
・レーダー
KODEN　MD-3600

フィッシングギア
・イケス

装備品
・複数バッテリー
・デッキライト

コメント

今回ご紹介する船は昭和61年（1986年）進水の、九州地区では瀬渡し船などの業務用で定評のあるＳＳボート製作所の39フィート漁船。　エンジンはヤンマーディーゼルのディーゼルターボ(6GH-UT)375馬力（船検手帳記載300馬力）搭載の漁船（小型兼用船）のご紹介です。

◆外観
進水から24年経過のため、スレ、キズ、塗装のハゲなどそれなりの使用感はありますが、致命的な大きな傷やヘコミなどは見受けられず、船体はしっかりしているようです。　現オーナー様は主に釣り船や赤貝・ナマコ漁に使用しており、特に問題なく活躍しているそうです。　画像に写っている漁具関係は、売却時の装備には含まれません。

◆コックピット／キャビン
ブリッジにはFURUNOのGPS魚探一体タイプと、KODENのレーダーが設置されており、特に問題なく作動しているとのことです。　操船席横のドアを開けると機関室～トイレへとつながっています。　操船席後方には大人６～８人が座れるほどの広さの船室があり、室内には壁紙が綺麗に張られています。

◆機関関係
エンジンはヤンマーディーゼルのターボ付きディーゼルエンジン（6GH-UT）375馬力が搭載されています。使用時間は不明ですが、3年ほど前にオーバーホールを行ったそうで、その後は1000時間ほどの使用とのことです。もともとは30ノット以上の最高速度が出ていたそうですが、プロペラの寿命で交換を依頼した際に、本来装着されていたものとは違うメーカーのプロペラに交換されてしまい、現在は28ノットほどに速力が落ちているそうです。
走行時の船体を安定させるため、3年ほど前に油圧式の抵抗板を二枚取り付けたそうです。（画像53～55）
船首の操舵機関に関しては、油圧ポンプの配管の接合部分からのオイル漏れが発生したために、現在は配管を外して使用できない状況となっています。（修理すれば使えるそうです。）（画像24～27）
ソーラーパネルを取り付けたことで発電機は必要なくなったそうで、現在は取り外して保管しています。（画像98）

◆出品理由
オーナー様は、乗り換えの為に出品となりました。

お問い合わせ先ご質問や見学のお申込は掲載会社までご連絡ください！

[九州エリア統括]　岳原(おかはら)



九州エリアの統括窓口をさせてもらっています。　まだまだ勉強中で未熟な点も多々ありますが頑張っています。

090-9497-2462

okahara@chukotei.com